

# 林業用の優良な種子を安定的に確保する

～すぐれた形質をもつ林業用品種の種子を採取するための指針をつくりました～



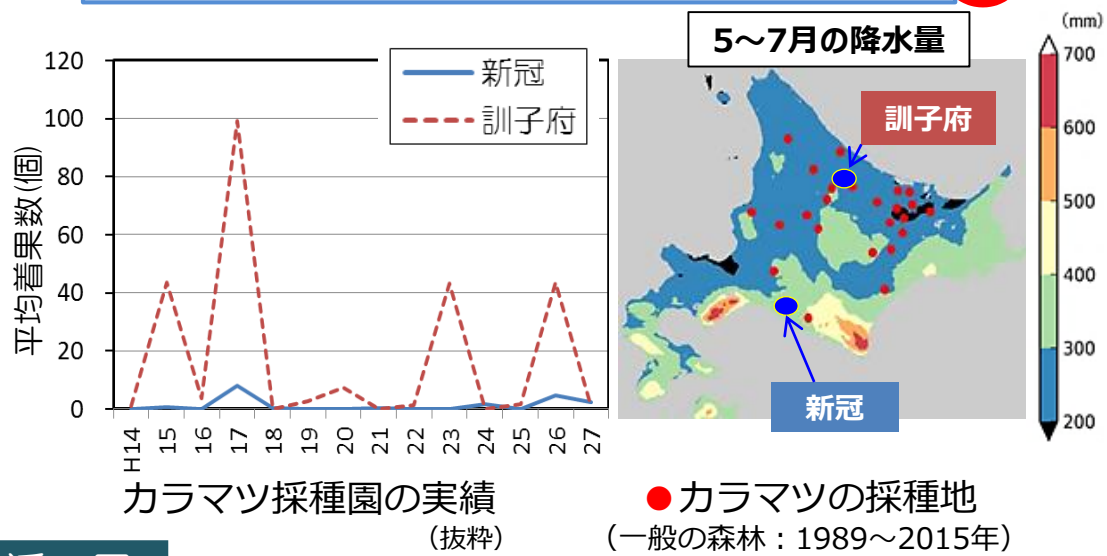
## 背景

- 今後、道内人工林の伐採量増加に伴い、再造林に必要な林業用種子、なかでもカラマツ、トドマツ優良品種の種子不足が深刻になります。
- そのため、優良品種の種子を採取する「採種園」を適地につくるための指針が必要です。

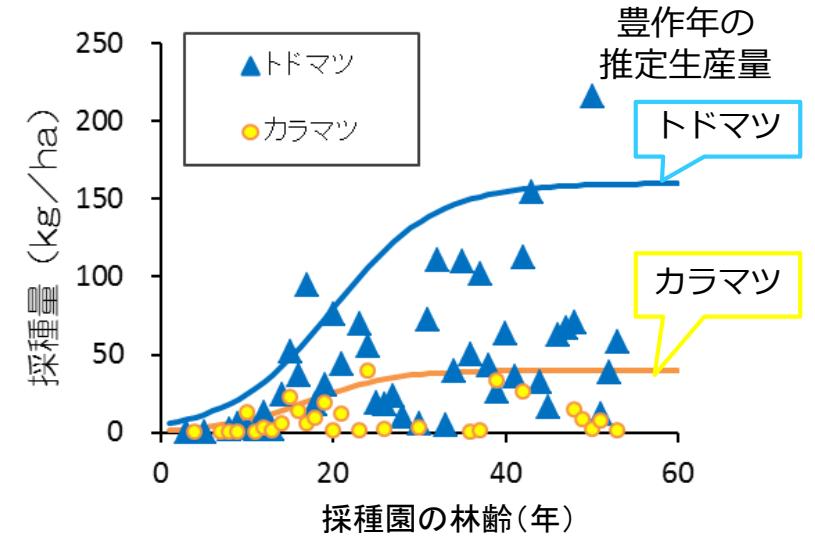
## 成果

- 1** カラマツの種子生産量には夏季の降水量が影響することを明らかにし、採種園の適地を示しました。  
トドマツの採種園には不適地はないことを示しました。

降水量300mm以下（地図の青いエリア）がカラマツ適地



- 2** 豊作年の種子生産量を推定し、苗木需要などから採種園必要面積を明らかにしました。



20年後（H48）の採種園の必要面積  
カラマツ 124ha トドマツ 90ha

## 活用

■ この研究結果をもとに、北海道採種園整備方針（平成27年3月）、道有採種園整備計画（平成29年3月）が策定されました。今後、適地に採種園が造られ、優良な種子の確保が促進されます。